

## 2. 水源地域活性化の目標

### 2.1 水源地域活性化の視点

七ヶ宿ダム水源地域ビジョンでは、水源地域の「水」を取り巻く環境や人々の暮らし、地域の産業等に着眼しながらも、特に、「水源地域に人が住み続けることで“水”が守られる」、「“水”を守ることで、利水地域との信頼が築かれる」、「水源地域の魅力、暮らしぶりが評価され、誇りが育まれる」という視点をよりどころとして、水源地域活性化の課題とその対応施策、実践に移せる行動計画等を組み立てていきます。

#### 視点：その1

水源地域に人が住み続けることで、“水”が守られる

～そこに水源地域の人々の生活基盤があるから、“水”もより健全に守られる基盤もある、という流域全体での共通の認識に立つ～

#### 視点：その2

“水”を守ることで、利水地域との信頼が築かれる

～“水”を守る暮らしや仕事に配慮することで、水源地域と他地域の結びつきが強まり、信頼が築かれるという「交流」に着目する～

#### 視点：その3

水源地域の魅力、暮らしぶりが評価され、誇りが育まれる

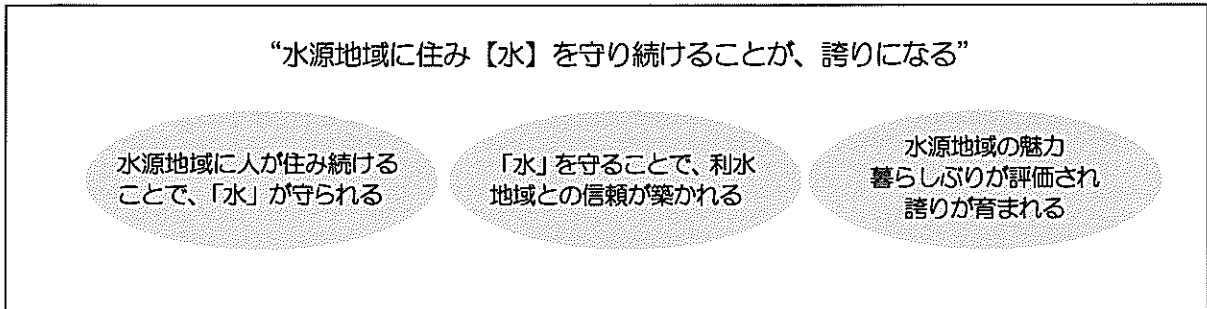
～水源地域の資源を知る、磨く、発信することで、水源地域の魅力、暮らしぶりが多くの人々に評価され、住民の誇りが育まれる～

※【水源地域】～流域全体のうち、七ヶ宿町の範囲～

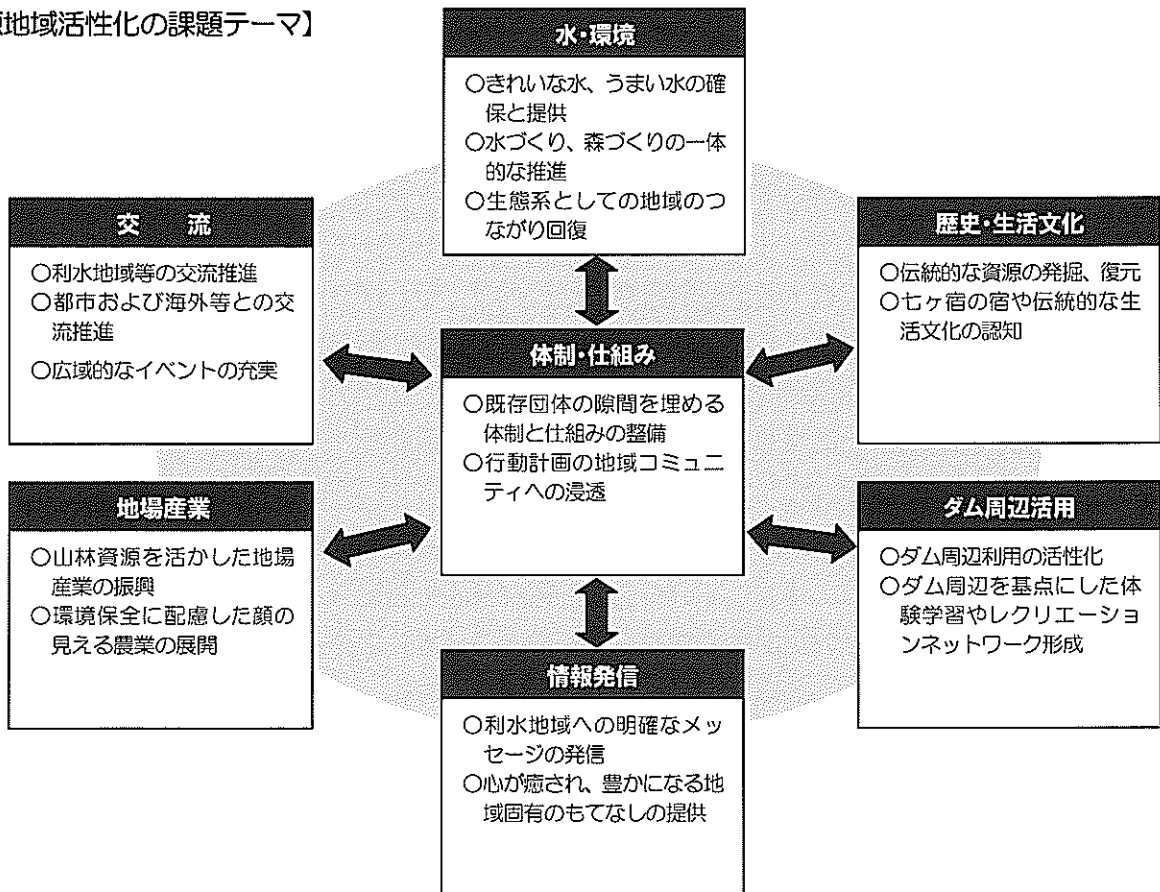
※【利水地域】～七ヶ宿ダムの水を利用している市町村の範囲～

水源地域活性化の課題は、「水守の郷ネット」の懇談会で議論された現状における問題点を7つのテーマに分類・整理し、導きだしています。

【水源地域活性化の視点】

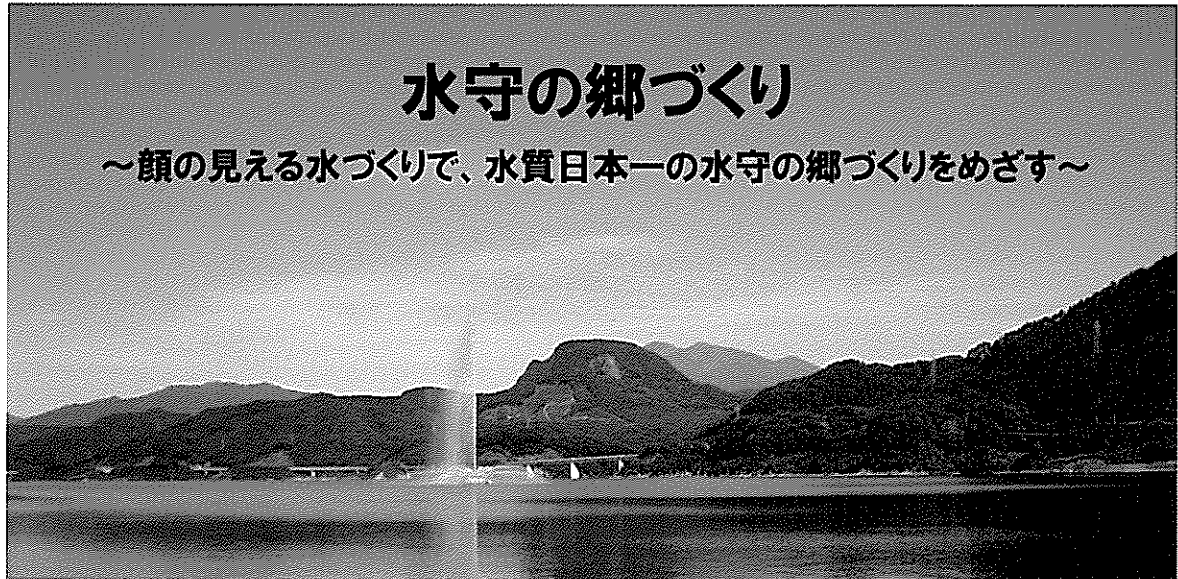


【水源地域活性化の課題テーマ】



## 2.2 水源地域活性化の目標

### 【目標】



七ヶ宿ダムは、仙台市を中心とする仙南・仙塩地区（7市10町183万人）の水瓶として重要な役割を果たしています。

このことから、七ヶ宿ダム水源地域は、水づくり・森づくり、水に親しむイベントなどの取り組みにより、これまで培ってきた利水地域・都市地域との交流とその積み重ねによる顔の見える信頼関係の絆を大切にし、さらに「水の価値や恩恵」が利水地域にきちんと伝わるようにメッセージを発信し続けていきます。

また、「水と暮らし」や「水と生産」、「水と交流」など、【水】との関わりを通して、【水】を守り、活かしていくための様々な協働活動を、利水地域・都市地域の人々と共に推し進め、お互いの顔や暮らしが見える【水】づくりの輪を一層広げていくことにより、水質日本一の水守の郷づくりを実現します。

そして、「水」、「環境」、「街道」、「地場産業」、「山村文化」などの七ヶ宿固有の自然、歴史・文化的な資源を磨き上げ、活用しながら、きめ細やかな利水地域・都市地域の人と団体のつなぎの仕組みを構築し、ひいては“水源地域に住み【水】を守り続けることが、誇りになる”水守の郷づくりを持続的に発展させていきます。